

## ■ 科学で、まだ見ぬ健康課題に挑む研究所

- ・ 本研究所は、「まだ名前のついていない健康課題」を見つけ出し、科学の力で生活者の未来を変えることを目指しています。
- ・ 日常に潜む変化や違和感の背後にある本質的な課題を捉え、研究を通じて社会に解決策を提案します。

## ■ 業務内容・研究の進め方

- ・ 分子メカニズムに注目する生命科学の限界を踏まえ、ヒトで得られた知見を起点に、ヒト・モデル・データを統合する統合生命科学に取り組みます。
- ・ 基礎から臨床まで、実験とデータ解析を往復しながら、生命をシステムとして捉え、研究を進めています。
  - － 循環型研究 : ヒト→モデル(細胞・動物・iPS細胞由来オルガノイド)→解析→ヒトへと循環する研究開発
  - － データ統合解析 : コホート・臨床・オミクスデータの統計解析・機械学習解析
  - － 研究創出・社会実装 : 社内外の研究機関との共同研究、新規研究テーマの立案、論文化・製品化検討

## ■ 私たちが大切にしている思い

- ・ 生活者の健康のために
  - － 「この研究は生活者の健康にとって本当に意味があるのか」「得られた知見をどのように役立てるのか」を問い続けながら、研究に向き合っています。
- ・ 健康を“カラダ全体”で考える
  - － 特定の臓器や分子の個別メカニズムではなく、身体全体、共生微生物、生活習慣、環境が関わり合う統合的システムを捉え、生命活動と健康の本質に迫ります。
- ・ 個とチームを大切に
  - － 研究所内外を問わず、想いを共有しながら協働することで、研究を前に進めています。

## ■ 働く環境・チームの雰囲気

- ・ 年齢・性別・立場に関係なく、全員が一人の研究者として互いを尊重し、忖度のない議論を行う文化があります。
- ・ それぞれの専門性や強みを生かしながら、新しい領域やスキルの習得にも積極的に挑戦できる環境で、研究者としての幅と深みを広げています。

## ■ 求めている人物像

- ・ 自ら課題を見つけ、主体的に研究を推進できる方
- ・ 研究開発全体を俯瞰し、研究の意義や位置づけを意識できる方
- ・ 特定の専門分野にとどまらず、幅広い領域に興味を持ち学び続けられる方
- ・ 社内外の多様な人と円滑にコミュニケーションを取り、協働できる方